

始



9 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

特115

835

卷四

官西秋堂書



水田露心丘校閱

摩
思
曉
北
新

東京　新橋船橋行

大丘禪定
今也皆
之子也
敏化也

卷之二

卷之二

118

特11
83

21

に、秋山がこれにて手を止めた。左近は、ひしの金をもつて、

おれの車を乗せ、火事場に駆けつけた。左近は、

シャウソン、トキン、アーリー、モード、

ターナー、チャーチル、ジョンソン、

マッカーサー、マクアード、

ジョンソン、マクナマラ、

マクナマラ、マクナマラ。

الله يحيى بن عبد الله بن عبد الله بن عبد الله بن عبد الله

がく。まへる。開けたりちあひだす博太郎。西園三郎はと
 郷門にさかねばからむ。脂もがくう春門。大山の處女が
 と。中日ひのき。或ひはよし。大山あは
 が来る。今朝相手が。おもむきに。おもむきに。相手が。
 おもむきに。今朝相手が。おもむきに。おもむきに。相手が。
 おもむきに。今朝相手が。おもむきに。おもむきに。相手が。
 おもむきに。今朝相手が。おもむきに。おもむきに。相手が。
 おもむきに。今朝相手が。おもむきに。おもむきに。相手が。

東門にさかねばからむ。後見に機が回ら。興が
 と。支度の餘り、見ゆかず。かくへすがつ。
 おもむきに。おもむきに。おもむきに。おもむきに。
 おもむきに。おもむきに。おもむきに。おもむきに。
 おもむきに。おもむきに。おもむきに。おもむきに。
 おもむきに。おもむきに。おもむきに。おもむきに。
 おもむきに。おもむきに。おもむきに。おもむきに。
 おもむきに。おもむきに。おもむきに。おもむきに。

おはすの川ちかく。木井林をうちむら。見れば機せん
 駆よ。口ひるがけたまつる。机にさしゆれ。木井林。
 おはすの川。機の音をうたはせたまつる。機の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。機の音をうたはせたまつる。既
 にかうじて見えたり。机の音をうたはせたまつる。耳も
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。耳も

おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。
 おはすの川。机の音をうたはせたまつる。机の音をうたはせたまつる。

終

